TAIYO-SEIKI

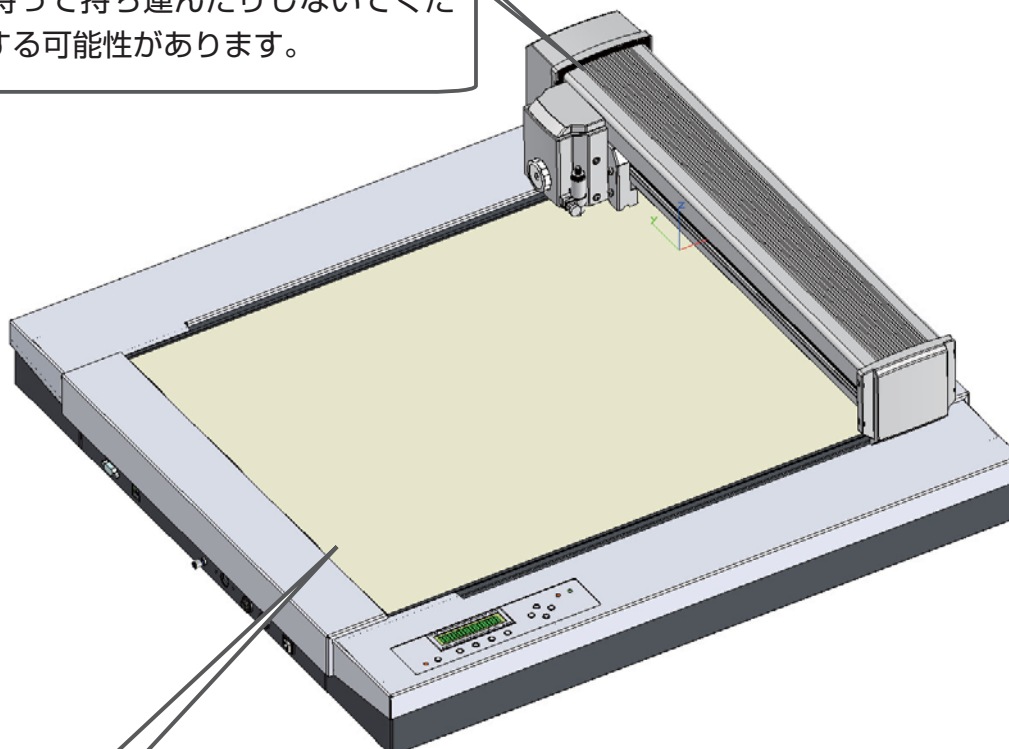
取扱説明書

このたびは ProMARK FG10 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、よくご理解いただいた上で本機の操作、保守を行ってください。
またいつでもお読みになれるように保管場所を決めてご活用ください。

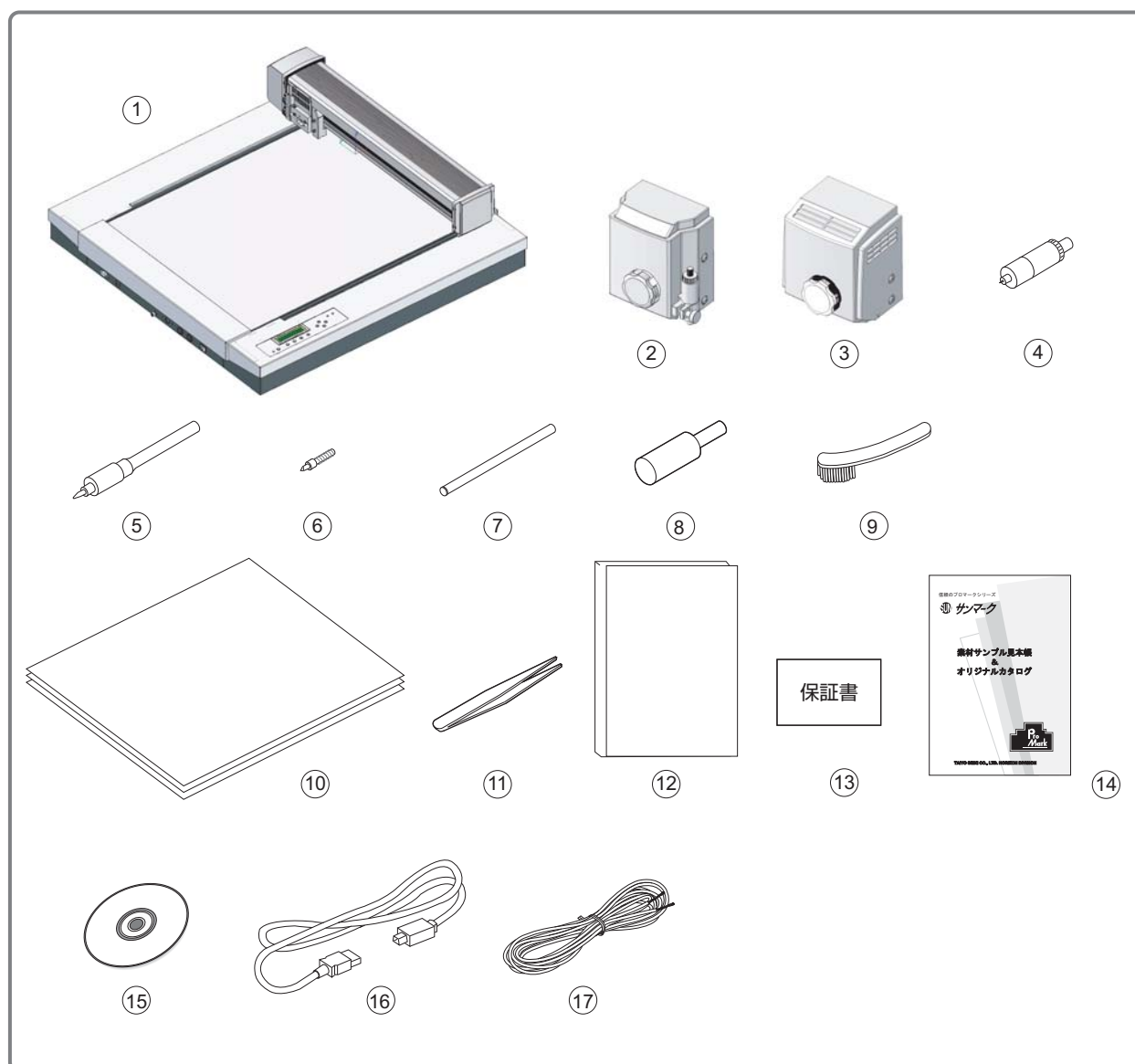
UM107147-00

ご使用上の注意

ヘッド・スライド部

ヘッドやそのスライド部に衝撃を与えたり、その部分を持って持ち運んだりしないでください。破損する可能性があります。

テーブル

タックシートを貼り付ける前に、テーブル上の汚れをアルコールなど有機溶剤で拭き取ってください。テーブル以外の部分は有機溶剤で拭かないでください。変色する可能性があります。

ProMARK FG-10 のセット内容

① ProMARK FG-10 .... 1 台
② ナイフ・カッタヘッド............................ 1 個
(ペンホルダ・ナイフホルダ用)
③ ヒート・カッタヘッド............................ 1 個
(ヒート刃先用)
④ ナイフホルダ .... 1 本
⑤ ペンホルダ .... 1 本
⑥ ナイフ刃先... 2 本
⑦ ナイフ刃先交換ツール............................ 1 本
⑧ ヒート刃先交換ツール............................ 1 本
⑨ 清掃ブラシ .... 1 本
⑩ 両面タックシート .... 3 枚
⑪ ピンセット .... 1 本
⑫ 取扱説明書 .... 1 冊
⑬ 保証書... 1 冊
⑭ サンマーク見本帳 .... 1 冊
⑮ インストール CD-ROM......................... 1 枚
(WindowsXP[一部対応不可]/Vista/7 用)
⑯ USB 通信ケーブル .... 1 本
(WindowsXP[一部対応不可]/Vista/7 用)
⑰ アース線... 1 枚

使い方

1. 運転準備をする

1.1 USB ケーブルで、パソコンと FG10 を接続する

1.2 電源プラグを AC コンセントに差し込む

マーク倶楽部を使ってカットするとき（プロッタモード）→ 2 へ進んでください。

Windows アプリケーションソフトを使ってカットするとき（イメージカットモード）→ 3 へ進んでください。

2. マーク倶楽部から、データを受信してカットする

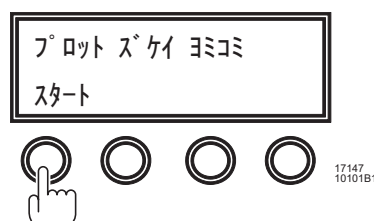
2.1 FG10 の電源を入れる

2.2 プロッタモードを選ぶ

補足

数秒経過すると、前回選んだモードに自動的に切り替わります。

切り替わってしまった後、選び直したい場合は、電源を入れ直してください。

2.3 カットデータを待ち受ける

2.4 マーク倶楽部を立ち上げ、カットデータを送信する

- マーク倶楽部の詳しい使い方は、マーク倶楽部取扱説明書をご覧ください。
- マークボード、またはイメージボードからカットボードにデータを送信すると、カットボードのデータを FG-10 に送信できるようになります。

カットデータを送信した後は FG10 で操作を行います。4 へ進んでください。

3. Windows アプリケーションソフトから、データを受信してカットする

3.1 FG10 の電源を入れる

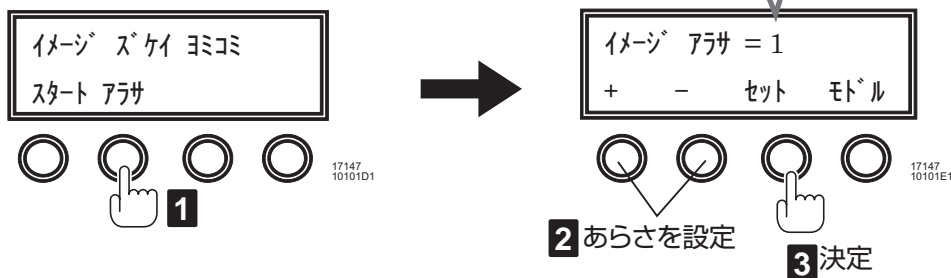
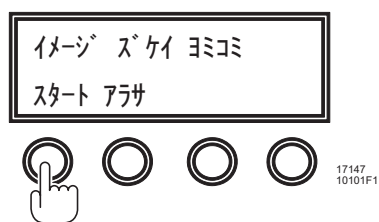
3.2 イメージカットモードを選ぶ

3.3 図形のあらさを設定する

あらさは、1～5まで設定できます。

イメージデータを忠実にカットする場合は、「1」を選択します。

数値が大きくなると、イメージデータのガタつきを補正しますが、精細さが低下します。

数　値	５　４　３　２　１
精密さ	粗い ←――→ 精密
ノイズ除去性	強 ←――→ 弱

3.4 カットデータを待ち受ける

3.5 Windows アプリケーションソフトから、印刷出力する

出力先のプリンタとして、「Horizon　Cutman」を選んで、印刷します。

データを印刷した後は FG10 で操作を行います。4 へ進んでください。

4. メインメニュー

ﾄﾞﾉ ｿｳｻｦ ｼﾞｯｺｳ ｼﾏｽｶ?
ﾖﾐｺﾐ ﾍﾝｼｭｳ ｾｯﾃｲ ｶｯﾄ

操作メニューを選びます。

ヨミコミ： カットデータを読み込みます。再度データを読み込みたい場合はこちらを選択します。5 へ進んでください。

ヘンシュウ：カットデータの倍率を変更したり試し書きを行うことができます。カットを始める前に試し書きすることをお勧めします。6 へ進んでください。

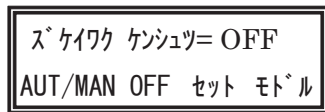
セッテイ： カット速度や温度などのカット条件を設定できます。使用するシートに合わせて設定してください。また、ナイフの補正を行うこともできます。7 へ進んでください。

カット：カットを行います。8 へ進んでください。

5. カットデータを読み込む

- マーク倶楽部を使う場合（プロッタモード）は、2.4　2.3 を参照してください。
- Windows アプリケーションソフトを使う場合（イメージカットモード）は、3.3　3.4　3.5 を参照してください。

6. カットデータを編集する

6.1　図形枠検出モードを設定する

1 どちらかを選択

AUT/MAN ボタンは押すたびに表示が切り替わります。

2 決定

ポイント

プロッタモードの場合は、OFF（なし）を設定します。

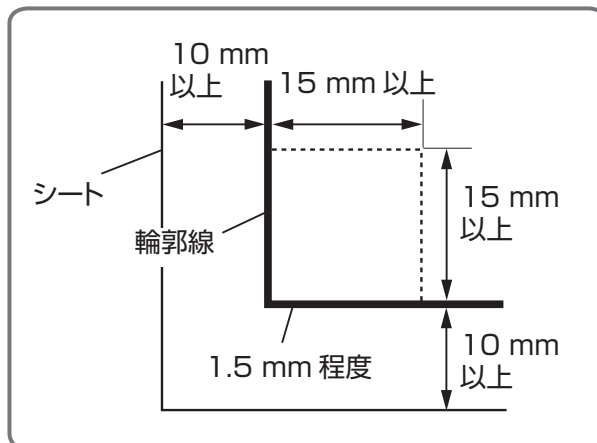
イメージカットモードの場合は、AUTO（自動）か MANUAL（手動）のどちらかを選択してください。

注記

図形枠を検出しない場合は OFF を選択してください。

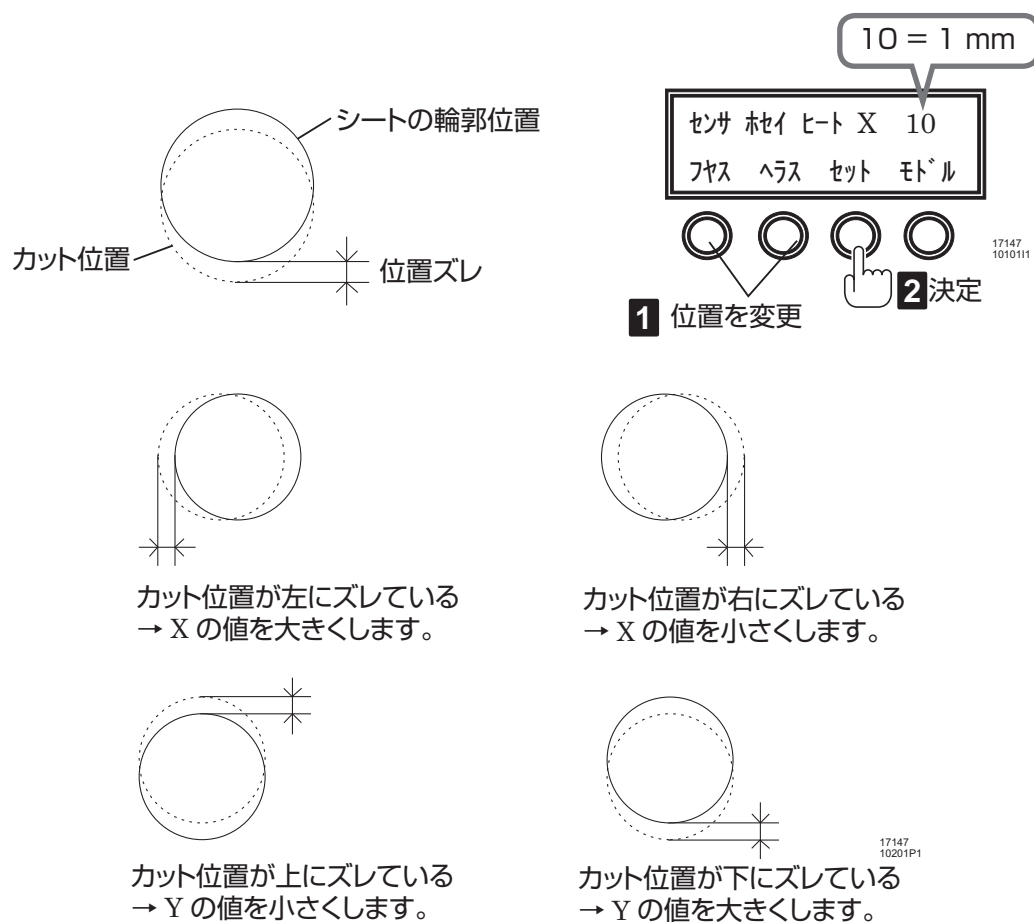
サンクロス、サンシルキー、転写紙 BLANC の白色を使用する場合は、AUTO を選択してください。その場合、図形枠と輪郭の間を下図のように空けてください。

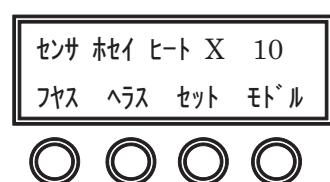
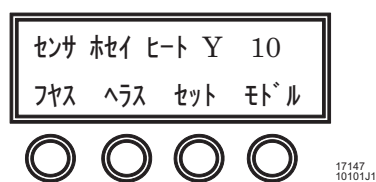
また、以下の場合は MANUAL を選択してください。

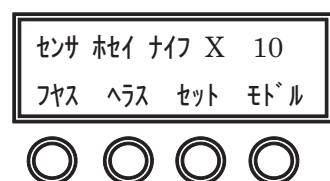
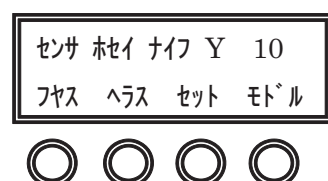
- サンクロス、サンシルキー、転写紙 BLANC の白色以外のシートを使用する場合
- 図形枠と輪郭の間が狭い場合
- AUTO で図形枠の検出がうまくできない場合

6.1　カット位置を補正する (図形枠検出モード自動 [AUTO]、手動 [MANUAL] のとき)

シートの輪郭位置と、カット位置の位置ズレを補正できます。

補正値は、X（よこ方向)、Y（たて方向）各 0.1 mm 単位で、設定できます。

フヤス、ヘラスボタンで　値を変更し、セットボタンで決定します。

ヒータヘッドの補正値の設定

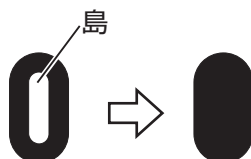
ヒータヘッドの X 方向の補正値の設定

ヒータヘッドの Y 方向の補正値の設定

ナイフヘッドの補正値の設定

ナイフヘッドの X 方向の補正値の設定

ナイフヘッドの Y 方向の補正値の設定

6.2　たて倍率を設定する（図形枠検出モードが OFF のとき）

6.3　よこ倍率を設定する（図形枠検出モードが OFF のとき）

6.4　反転カットを設定する（図形枠検出モードが OFF のとき）

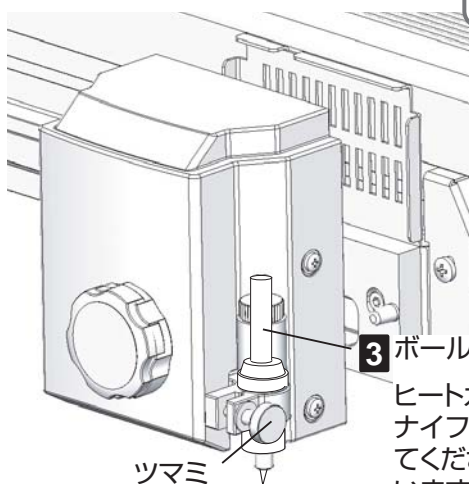
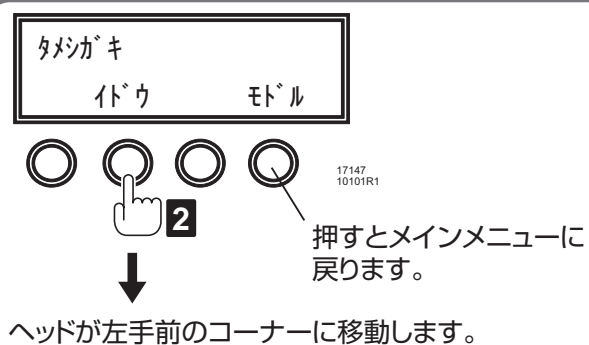
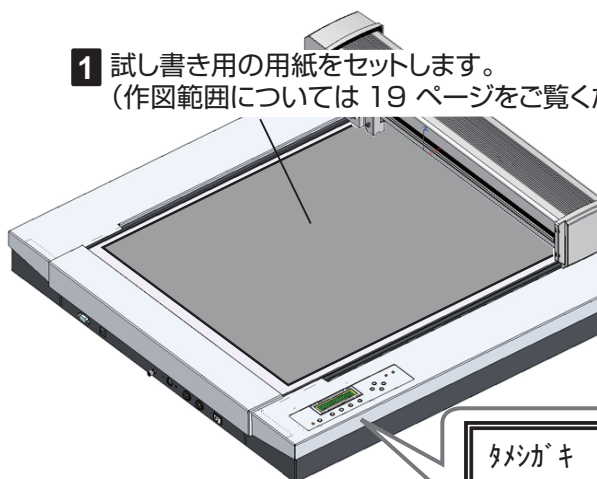
6.5　外枠のカットを設定する

6.6　島のカットを設定する（イメージカットモードのとき）

6.7　試し書きをする

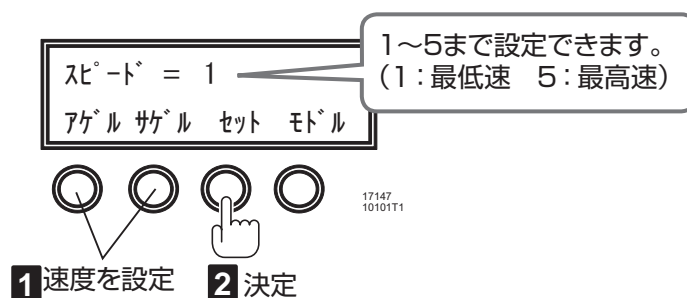
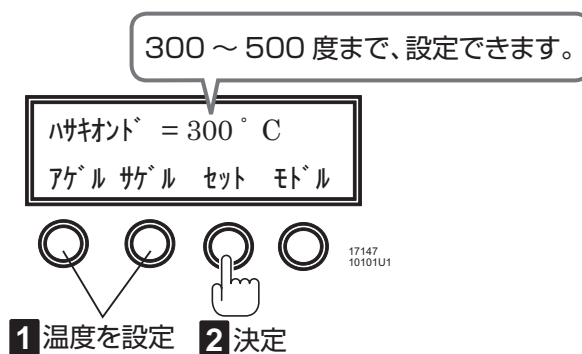
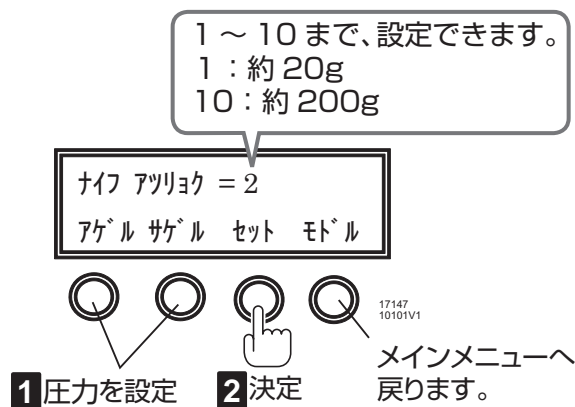
試し書きの形状に問題がなければ、カット条件を設定します。
メインメニューで「セッテイ」を選択し、7 へ進んでください。

試し書きの形状に問題がある場合は、6.2 ～ 6.6 へ戻り、編集をやり直してください。

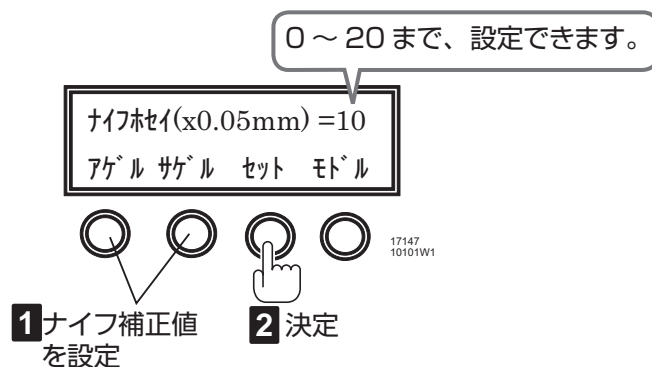
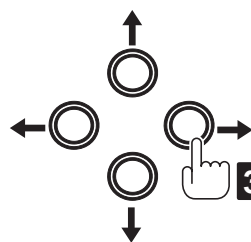
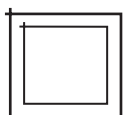
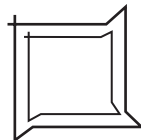
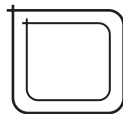
7.　カット条件を設定する

使用するシートに合わせてカット条件を設定してください。マーク倶楽部であらかじめ設定しておくこともできます。

取り付けられているヘッドによって設定できる項目が違います。使用するヘッドが取り付けられていることを確認してください。ヘッドの交換の方法は 18 ページで説明しています。

シート名	サイズ X	サイズ Y	ヒートヘッド / ナイフヘッド	反転	温度	圧	カット速度
サンクロス	500	450	ヒートヘッド	なし	420	ー	3
サンシルキー	500	430	ヒートヘッド	なし	420	ー	3
サンソフト	500	450	ヒートヘッド	なし	420	ー	3
サンメッシュニット	500	480	ヒートヘッド	なし	420	ー	3
昇華クロス	500	450	ヒートヘッド	なし	470	ー	3
昇華シルキー	500	430	ヒートヘッド	なし	420	ー	3
サンラバー一般色	500	460	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
サンラバー蛍光・金銀	480	430	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
ソフトラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
マットラバー	500	460	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
撥水サンラバー	500	450	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
発泡サンラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
メタルサンラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
反射サンラバー	430	280	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
サンスターチ	400	290	ナイフヘッド	あり	ー	2	3
サンブライト	500	450	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
サンプリント	500	380	ナイフヘッド	あり	ー	1	3
サンスティック	500	450	ナイフヘッド	なし	ー	3	3
イベントラバー	500	500	ナイフヘッド	あり	ー	5	3
サンスターチⅡ	500	500	ナイフヘッド	あり	ー	3	3
転写紙 BLANC	420	297	ナイフヘッド	なし	ー	1	3
製版シート F22	420	490	ナイフヘッド	なし	ー	5	3

7.7.1　カット速度を設定する

7.7.2　カット温度を設定する（ヒートヘッド装着時）

7.7.3　ナイフ圧力を設定する（ナイフヘッド装着時）

本製品を購入後、最初に使用するときや、使用するシートを変更するときはナイフ補正を行います。7.7.4へ進んでください。

前回と同じシートを使用する場合はカットを行います。
メインメニューで「カット」を選択し、8へ進んでください。

7.7.4　ナイフ補正値を設定する（ナイフヘッド装着時）

7.7.5　ナイフ補正値を確認（作図）する（ナイフヘッド装着時）

8. カットする

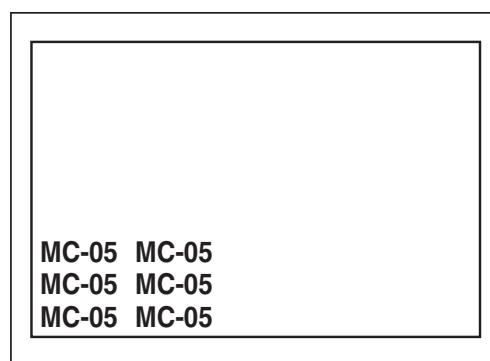
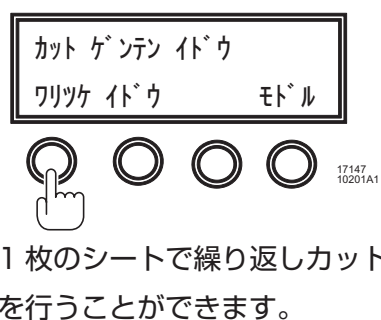
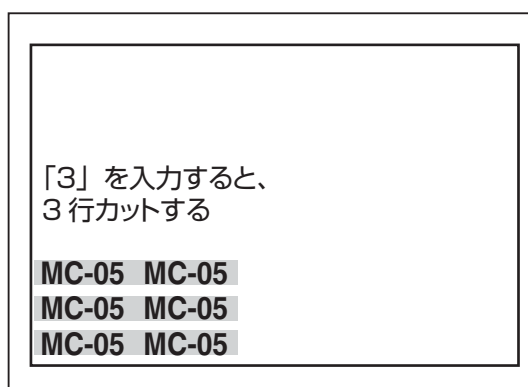
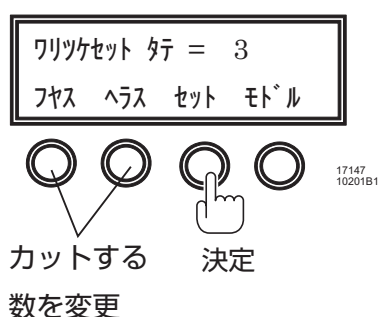
図形枠検出モードが OFF の場合は 8.1 で説明しています。

図形枠検出モードが自動の場合は 8.2 で説明しています。

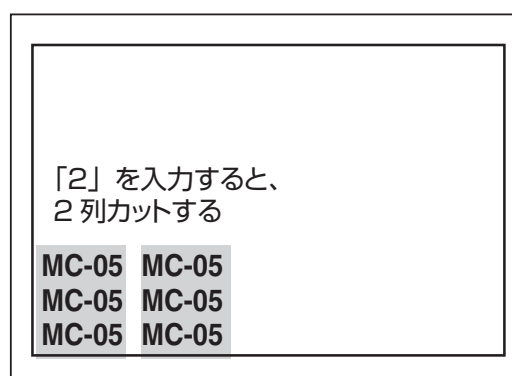
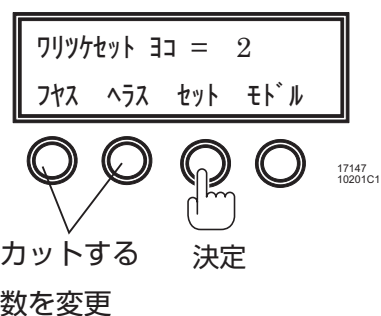
図形枠検出モードが手動の場合は 8.3 で説明しています。

8.1 カットする（図形枠検出モードが OFF のとき）

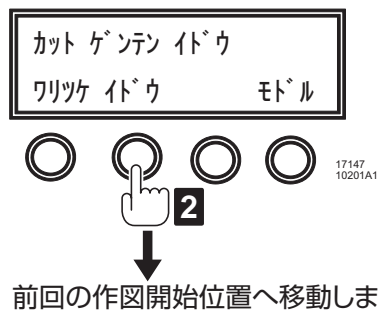
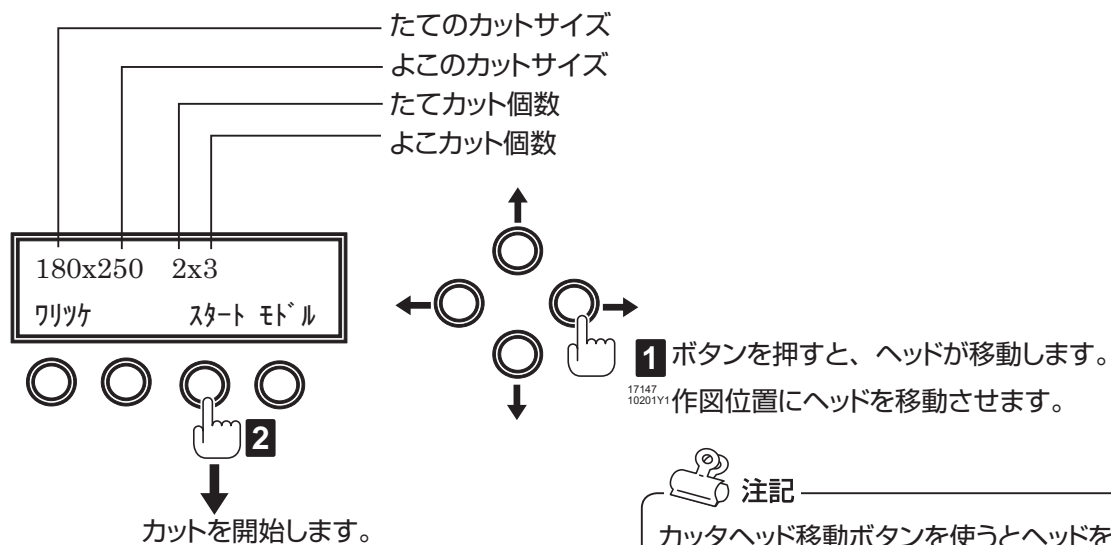
8.1.1 カット個数を設定する

1 枚のシートで繰り返しカットを行うことができます。

8.1.2 たてのカット個数を設定する

注記
ヘッドの位置によって入力できる値は変わります。

8.1.3 よこのカット個数を設定する

注記
ヘッドの位置によって入力できる値は変わります。

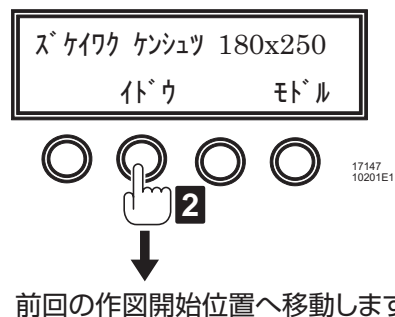
8.1.4　カット開始位置を設定する

1 カットシートをセットします。（19 ページ参照）

前回の作図開始位置へ移動します。

8.1.5　カットを開始する

8.2　カットする（図形枠検出モードが自動のとき）

1 カットシートをセットします。（19 ページ参照）

前回の作図開始位置へ移動します。

8.2.1　図形枠の検出を開始する

カッタヘッド移動ボタンで、センサーカバーのコーナーが、図形枠の左手前コーナーの真上になるように、カッタヘッドを移動させます。

ｹﾝｼｭﾂ ｶｲｼ ｼﾏｽｶ？
OK　ﾓﾄﾞﾙ

1 センサーカバーのコーナーが、図形枠の左手前コーナーの真上になるように、カッタヘッドを移動させます。

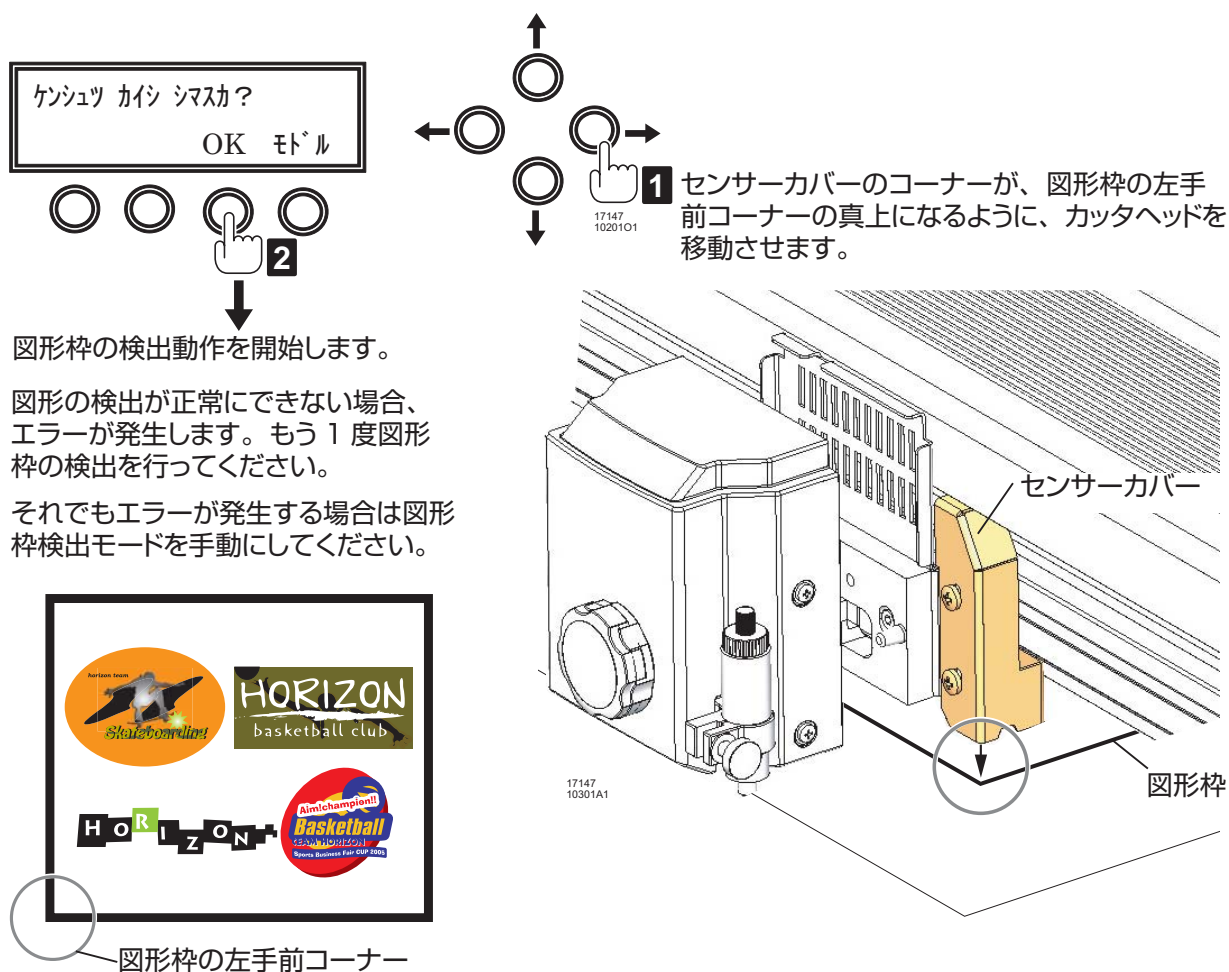
2 図形枠の検出動作を開始します。

図形の検出が正常にできない場合、エラーが発生します。もう 1 度図形枠の検出を行ってください。

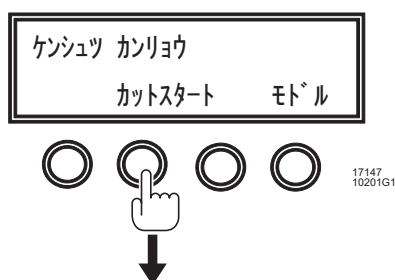
それでもエラーが発生する場合は図形枠検出モードを手動にしてください。

図形枠の左手前コーナー

センサーカバー

図形枠

8.2.2　カットする

図形枠が正常に検出できると、次のような表示になります。

ｹﾝｼｭﾂ ｶﾝﾘｮｳ
ｶｯﾄｽﾀｰﾄ　ﾓﾄﾞﾙ

カットを開始します。

カットの位置がずれている場合は 6.1 へ戻り、カット位置の補正を行ってください。

8.3　カットする（図形枠検出モードが手動のとき）

手動の場合には、P1、P2 の位置を、手動で指示します。

P1：図形枠の左手前のコーナー

P2：図形枠の右奥のコーナー

指示方法は、カッタヘッド移動ボタンで、センサーマーカが、指示したいコーナーの真上にくるように、カッタヘッドを移動させます。

P2：図形枠の右奥のコーナー

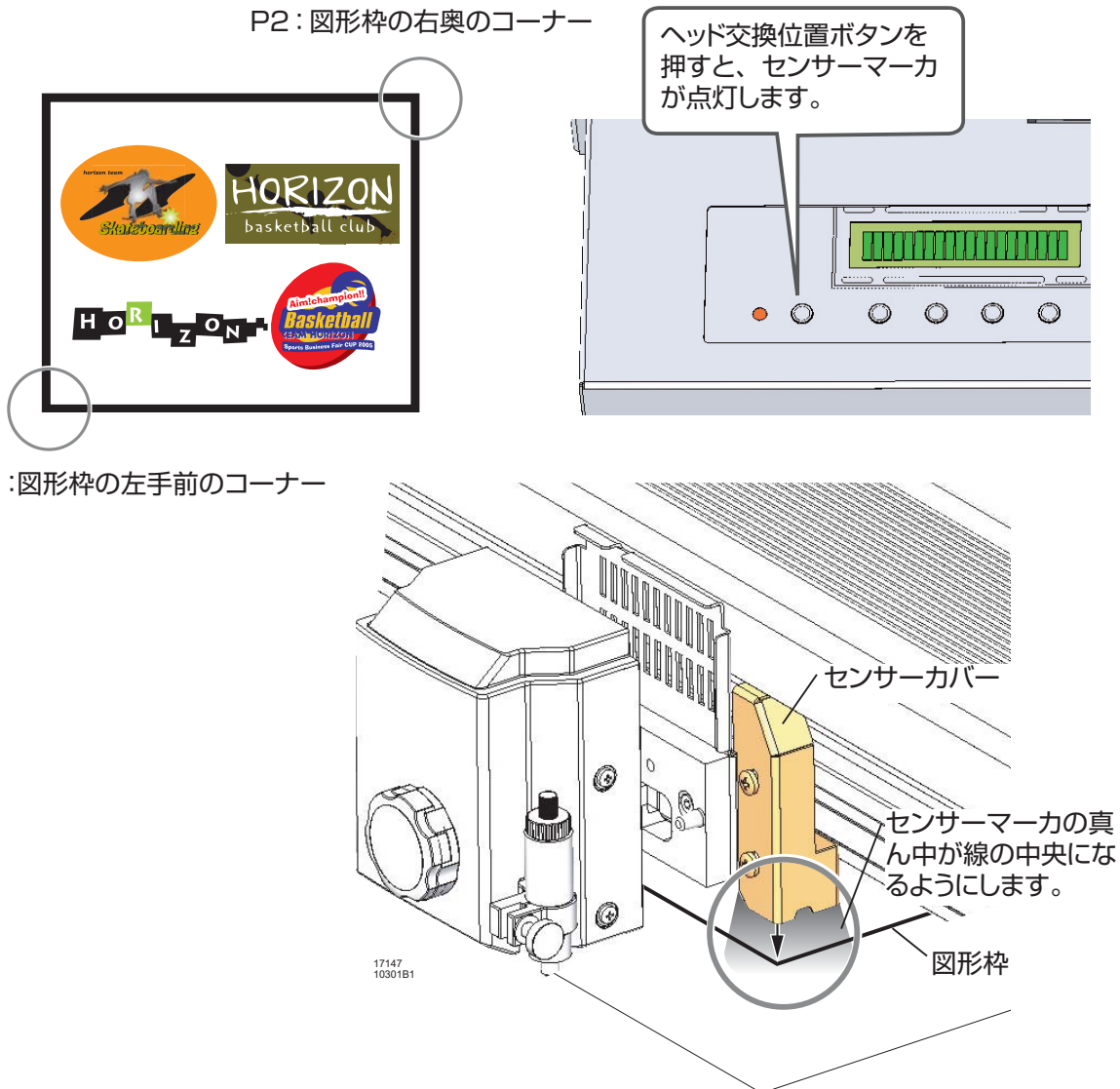
ヘッド交換位置ボタンを押すと、センサーマーカが点灯します。

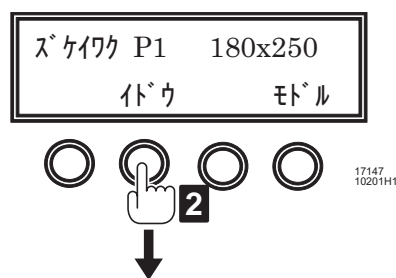
P1：図形枠の左手前のコーナー

センサーカバー

センサーマーカの真ん中が線の中央になるようにします。

図形枠

17147
10301B1

8.3.1　P1 のコーナーに仮移動する

1 カットシートをセットします。（19 ページ参照）

前回の作図開始位置へ移動します。

8.3.2　P1 のコーナーを指示する

ボタンを押すと、ヘッドが移動します。

センサーマーカが P1 のコーナーの真上にくるようにカッタヘッドを移動させます。

ポイント

ヘッド交換位置ボタンを押すと、センサーマーカが点灯し、セットしやすくなります。

8.3.3　P2 のコーナーに仮移動する

ヘッドが図形右奥のコーナーへ移動します。

8.3.4　P2 のコーナーを指示する

ボタンを押すと、ヘッドが移動します。

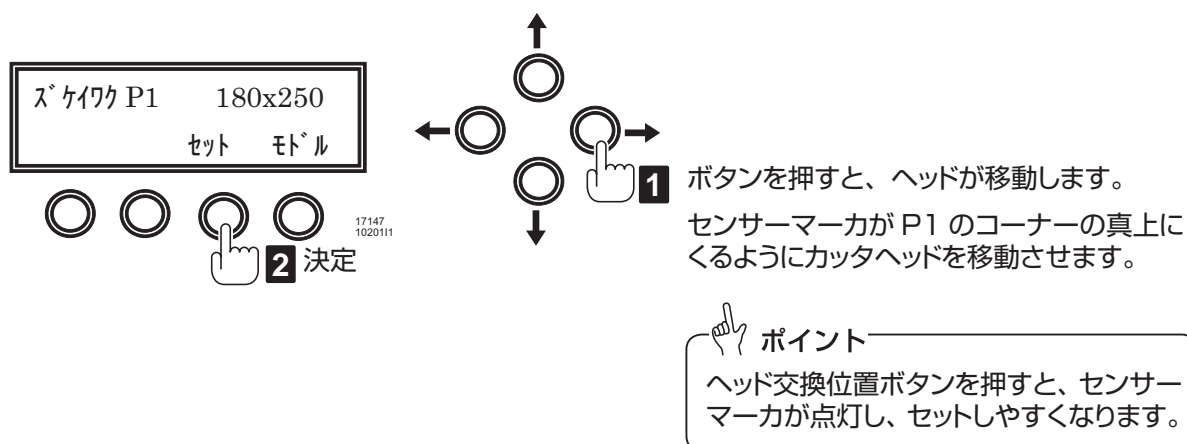
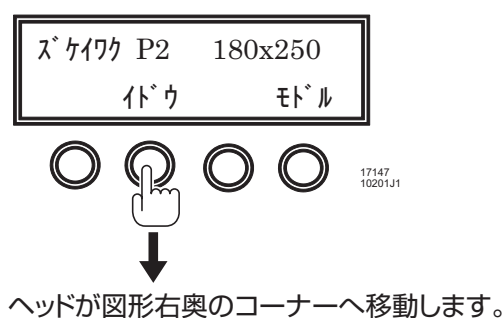
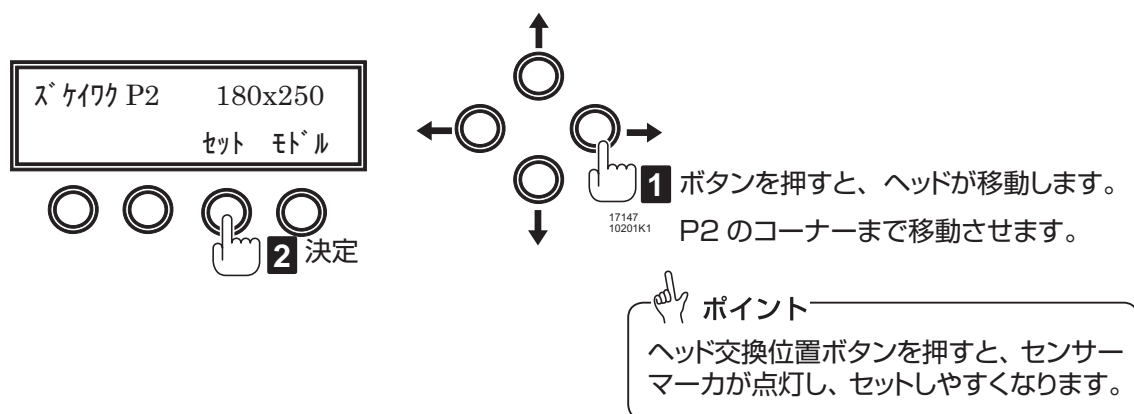
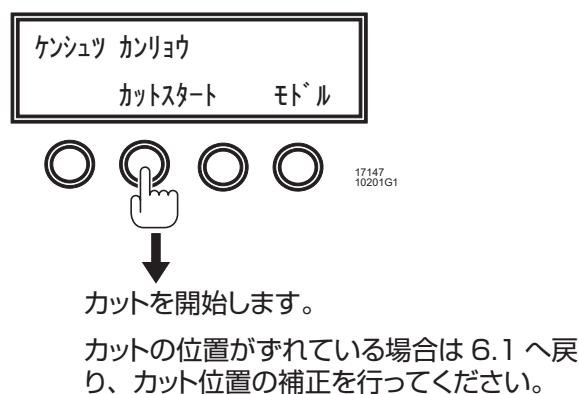
P2 のコーナーまで移動させます。

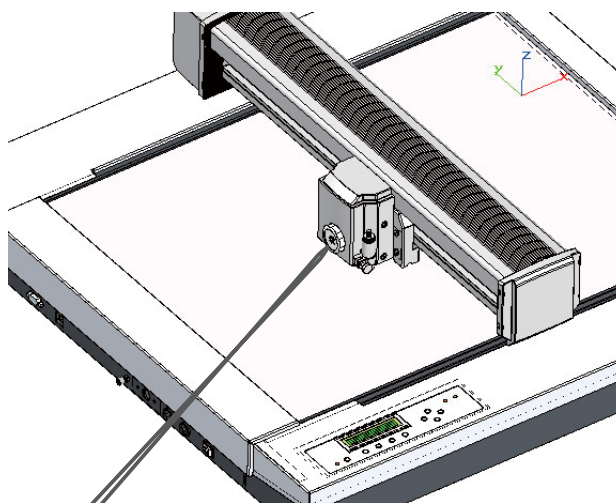
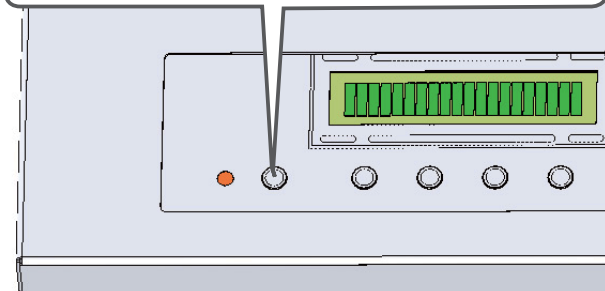
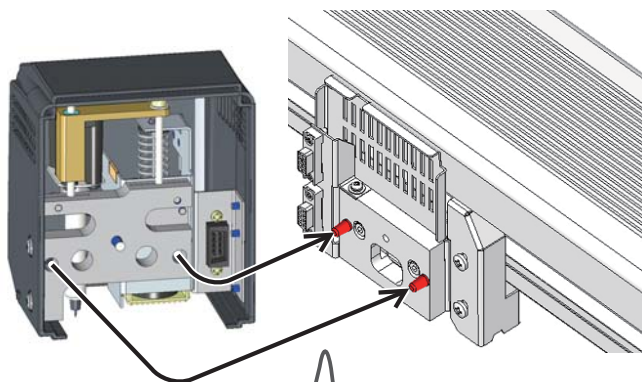
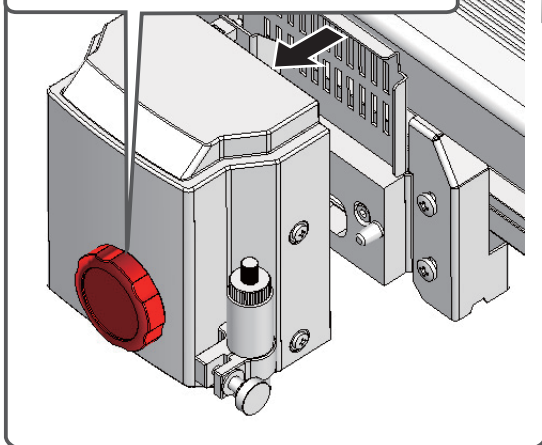
ポイント

ヘッド交換位置ボタンを押すと、センサーマーカが点灯し、セットしやすくなります。

8.3.5　カットする

カットを開始します。

カットの位置がずれている場合は 6.1 へ戻り、カット位置の補正を行ってください。

ヘッドの交換（ナイフ⇦⇨ヒート）

1 電源 ON の状態で、
「ヘッド交換位置」ボタンを押します。
→ヘッドが交換位置まで移動します。

2 固定ツマミをゆるめて
ヘッドを外します。

3 交換したいヘッドの穴に本体側のピンを差し込み、取り付けます。
取付後、固定ツマミを締めます。

ポイント
止まるところまで締めてください。強く締める必要はありません。

4 OK ボタンを押して、ヘッドを
待機位置に戻します。

カットシートのセット

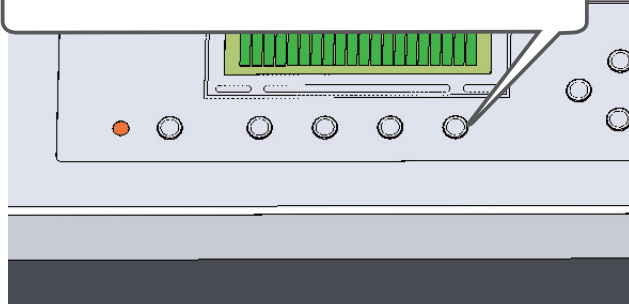
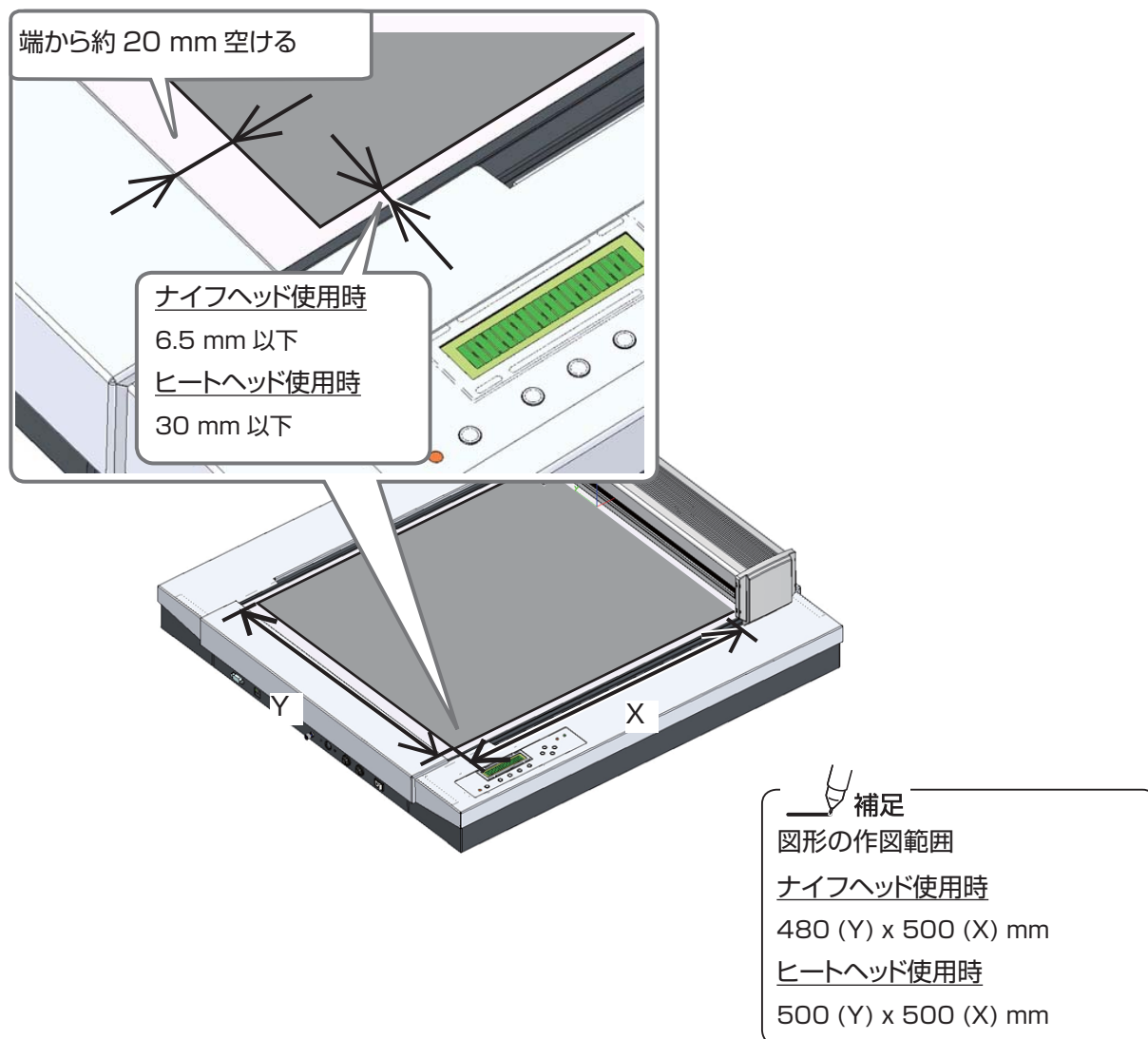
補足

図形の作図範囲

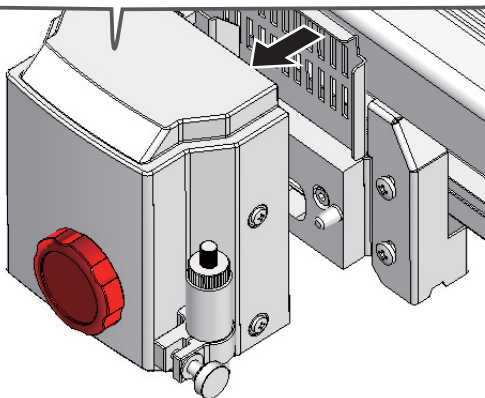
ナイフヘッド使用時

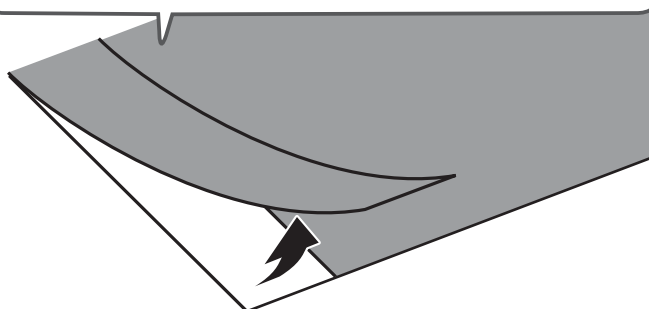
480 (Y) x 500 (X) mm

ヒートヘッド使用時

500 (Y) x 500 (X) mm

両面タックシートの貼り替え

1　ヘッドを外します。

- タックシートを貼るときに邪魔になるためです。方法は前ページで説明しています。

2　電源 OFF にします。

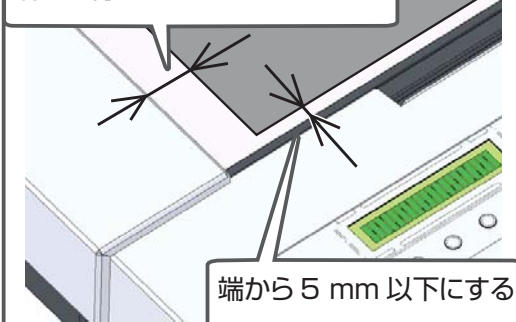
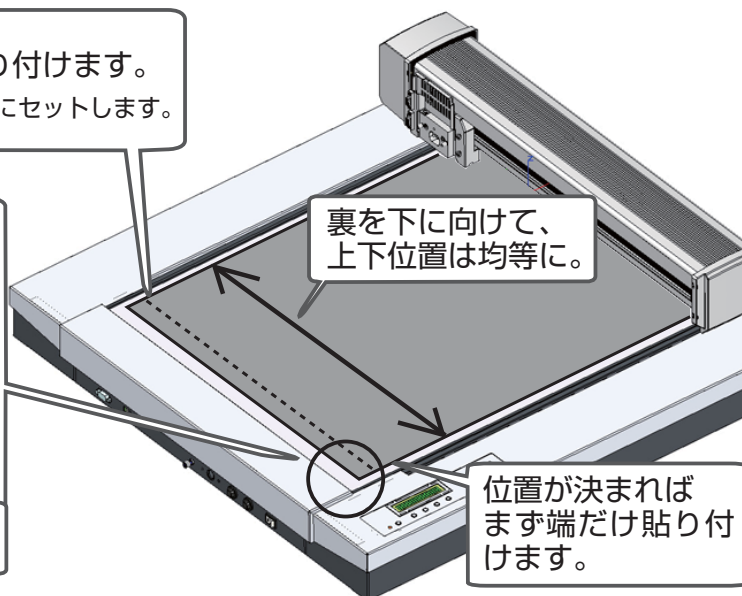
3　タックシートの端だけ、裏の剥離紙をはがします。

4　テーブルにタックシートを貼り付けます。

- 剥離紙をはがした側を左にして、テーブル面にセットします。

端から約 10 ～ 15 mm 空けて

端から 5 mm 以下にする

裏を下に向けて、上下位置は均等に。

位置が決まればまず端だけ貼り付けます。

裏の残りの剥離紙をはがし、空気が入ったりシワにならないように左端から押さえながら貼り付けます。